

ほくせい きらら がくえん  
北勢きらら学園  
こうしき キャラクター  
「きらりん」です。



# 三重県立特別支援学校 北勢きらら学園

## \*きららの紹介\*



こうもんまえ  
校門前



たいまちゆう  
待機中のバス



おんすい  
温水プール



しょくどう  
食堂



たいいくかん  
体育館

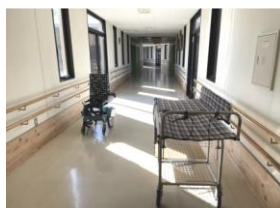
ほくせい がくえん み え けん ない こう けん りつ とくべつし えん が っ こう  
北勢きらら学園は、三重県内に14校ある県立の特別支援学校のうちの1つで、  
よっかいちししもえびちく したいふじゆうぶもん がっこう しょうがくぶ ちゅうがくぶ こうとうぶ  
四日市市下海老地区にある肢体不自由部門の学校です。小学部・中学部・高等部  
あ やく めい こ づ が く か よ こ ども たち は、ほくせい ち い き  
合わせて約90名の子どもたちが通っています。子どもたちは、北勢地域（い  
なべ市、東員町、桑名市、木曾岬町、四日市市、菰野町、川越町、朝日町）  
し どういんちよう くわなし きそさきちよう よっかいちし こものちよう かわごえちよう あさひちよう  
からスクールバスで通学しています。他にも福祉送迎車や自家用車で登校する  
つうがく ほか ふくし そうげいしや じかようしや どうこう  
子もいます。また、教員が訪問して自宅で授業を受ける子もいます。  
きょういん ほうもん じたく じゅぎょう う こ

## \*きららのユニバーサルデザイン\*

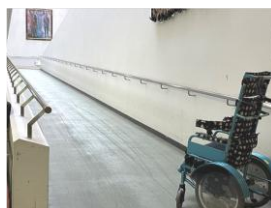
バリアフリーが「特定の人のバリア(段差などの障壁)をなくすこと」であるのに対して、ユニバーサルデザインは「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障がいの有無などにかかわらず、最初からできるだけ多くの人が利用しやすいように工夫することです。(このポスターもユニバーサルデザインの文字フォントを使用しています)



しどう  
自動ドアのある昇降口



て す り の ある 幅 の 広 い 廊 下  
手すりのある幅の広い廊下



ゆるやかなスロープ



エレベーター



やわらかい床マット

## \*きららの給食\*

きゅうしょく  
子どもたちのかむ力や飲みこむ力に合わせて毎日5種類を用意します。

普通食	ばくばく食(一口食)	かみかみ食(きざみ食)	もぐもぐ食(つぶし食)	ごっくん食(ペースト食)
普通の大きさ、やわらかさ	1センチくらいのおきさで 少しやわらかい	歯でかみつぶせるくらい のおきさ、やわらかさ	舌で押しつぶせるくらい のおきさ、やわらかさ	粒がなくなめらか、ねばり 気を調整している

# \*きららの子どもたち～活動の様子～\*

## ～きらら音楽会♪(1学期)～



全校縦割りチームに分けて、3回の全校集会を行いました。自己紹介や演奏の練習等で親睦を深め、発表会を行いました。

## ～きららまつり(2学期)～

きららまつりのテーマは「MAKE KIRARA HAPPY～みんなで楽しくもりあがろう!」。1日目はオープニングと和太鼓演奏の鑑賞。全校で体育館に集まり和太鼓の響きを全身で感じました。また、「みえびい」や本校キャラクターの「きらりん」とのふれあいも楽しみました。2日目は、各クラスで劇やゲームなどの学習発表。3日目はボウリング・おもちゃすくいと作品鑑賞。素敵な作品が廊下を彩りました。



## 人権ポスターコンクール

人権啓発を目的として、人権ポスターコンクールを実施しました。小学部、中学部、高等部全クラスが工夫をこらした作り方で仕上げました。最優秀賞、優秀賞に選ばれた作品は県地区ふれあい文化祭で展示されました。



## きらら郵便局

友だちや先生に「ありがとう」「ステキだね」「がんばってるね」等の気持ちを手紙で伝えました。



## ～近くの学校との交流～

県小学校や大池中学校やメリノール学院中学校、朝明高等学校との交流をしました。オンラインや対面での活動を楽しみました。また、作品やメッセージのやりとりを通じた交流もしました。